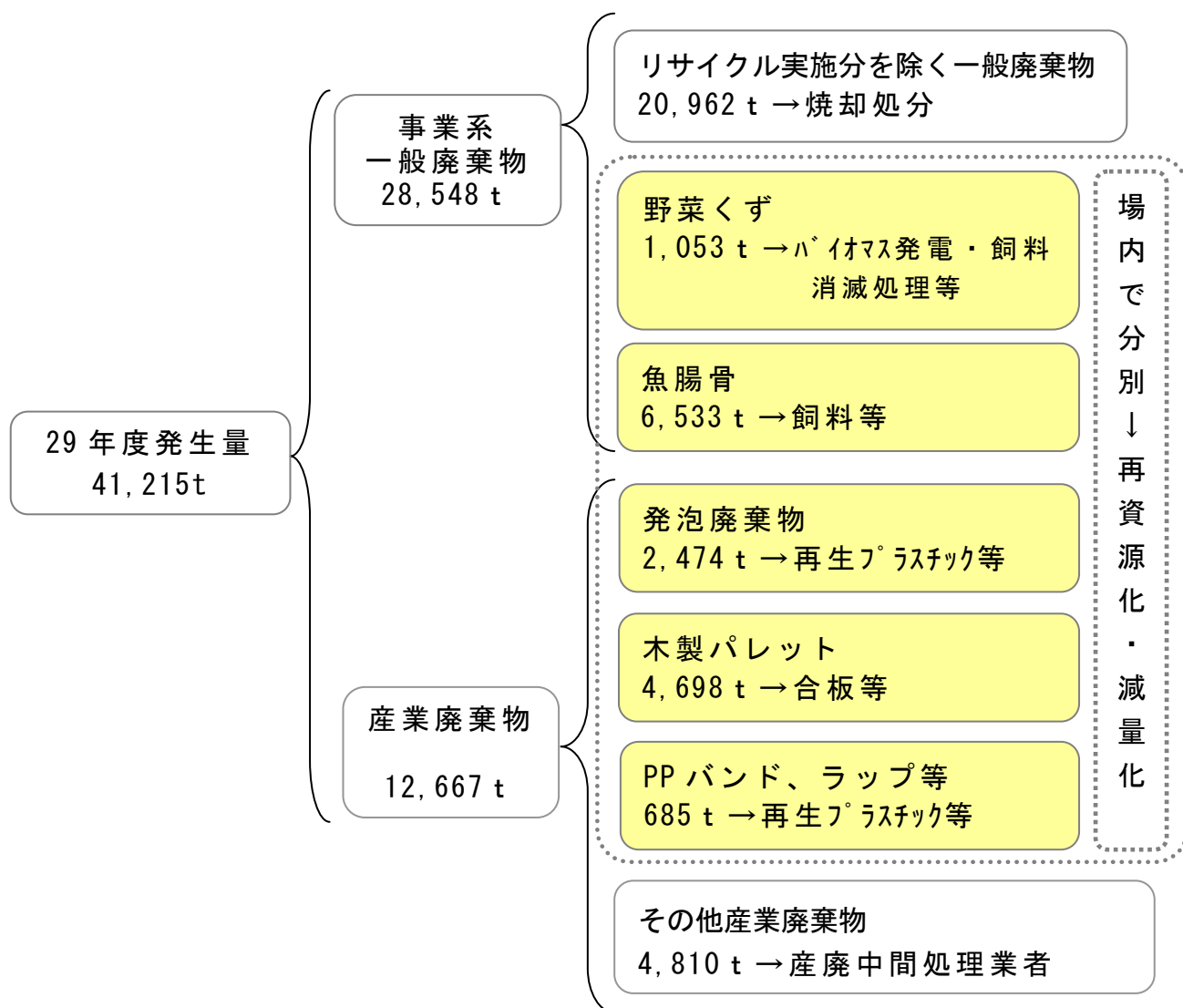


東京都中央卸売市場 廃棄物処理及びリサイクルの現状と課題



○一般廃棄物は28,548トンであり、このうち清掃工場で焼却処分されるごみは全体の約73%、20,962トンです。野菜くずは1,053トン、魚腸骨は6,533トンが再資源化されています。段ボール(集計外)はほぼ全てが再資源化されています。

○産業廃棄物は12,667トンであり、発泡廃棄物2,474トン、木製パレット4,698トン、場内で分別されたPPバンドやラップ等685トンが再資源化業者に持ち込まれています。これらを除く4,810トンは産業廃棄物中間処理業者へ持ち込まれ、分別のうえ再資源化されたり、サーマルリサイクル(熱回収)されたりしています。

○市場で発生した41,215トンの廃棄物のうち、場内で分別し再資源化業者に持ち込まれているものは、野菜くず、魚腸骨、木製パレット、発泡廃棄物、PPバンド等の15,443トン(全体の約38%)です。今後、ごみの発生量を抑制するとともに、リサイクルの一層の推進を図ることが課題となっています。